

特集

# 『ヒロシマ』の言葉

「落ちた町」ではなく「落とされた町」

8月5日から7日まで、富士見中学2年生5名（引率教諭1名）が「広島平和研修」を実施しました。この研修で平和祈念式典への参列、平和祈念資料館の見学のほか、被爆者の方から体験談を伺うなど、平和学習を深めてきました。参加者5名が、この研修を通じて体感した「想い」をご紹介します。



僕が広島に行って一番印象に残ったことは、原爆ドームと被爆者の方からのお話でした。

まず、原爆ドームのことで。僕は初めて原爆ドームを見た時、原爆が落とされた時の状況が、頭の中に浮かんできました。たった一つの原爆で、何もかも吹き飛ばされ、焼け野原になってしまった広島市を想像して、とても残酷だと思いました。まるで、原爆ドームは原爆や戦争のことを語ってくれているようでした。

被爆者の方も同じように、当時の状況を強く語ってくれました。話を聴く前の広島は原爆が「落ちた町」というイメージでした。しかし、被爆者の方は原爆が「落とされた町」と語っていました。それを聴いて、広島イメージが変わりました。とても悔しいと思いました。戦争は絶対にあってはならないと思います。



平和を願う想い

富士見中学校2年  
よした たかと  
吉田 崇人



### 想像できない現実

富士見中学校2年  
久保 啓悟

僕はこの研修で、原爆の恐ろしさ、当時の広島の悲惨さを実際に学び、感じ、改めて知ることができました。特に「被爆者証言のつどい」では、実際に原爆の被害にあった定信多紀子さんのお話を聞きました。

多記子さんは原爆が落とされる前、いつものように授業を受けて「さようなら」をした友達に、未だ会えていないそうです。そのことを聞いて僕は、原爆が落とされなければそんなことにはならないと感じ、今の自分の生活からは考えられません。しかし、自分が考えられないことが実際に起きたのです。ですから、そんな日常を奪ってしまふ原爆は絶対にあってはいけません。

僕たちは多記子さんの強い想いを聞きました。「原爆は絶対にあってはならない、そして戦争を二度としてはいけない」このことを聞いた自分たちは、たかさんの人に伝えていくべきだと強く思います。



### 原爆がもたらす影響

富士見中学校2年  
小林 美咲紀

私が今回の研修で印象に残っていることは「被爆者証言のつどい」です。お話を伺った田中さんは、中学生の時に被爆されたそうです。

「原爆が落ちた時、とても熱い光線がピカッと光り、その後の轟音と爆風で7、8メートルほど飛ばされ、目が覚めた時辺りは暗く、体は大火傷をし、その火傷に数十年悩まされた」

このお話を聞いて原爆が落ちた直後はもちろん、長い年月にわたり体にも心にも、様々な影響が出るのだと思いました。実際に田中さんご友人も、放射線によるガンで亡くなられたそうです。原爆が人体にもたらす影響は凄まじいものだと痛感しました。

被爆者の数は年々減り、原爆の恐ろしさを伝える人が少なくなっている今、今度は私達が原爆の恐ろしさを、戦争の残酷さを改めて伝えなくてはならないと強く思いました。



### 核兵器のない世界へ

富士見中学校2年  
土屋 優結

証言者「田中さん」のお話です。

「ピカツという光線の後、大きすぎて聞こえないほどの爆音が鳴った。体の左側が焼け、火傷が治るのに三十年かかった。毎日が生き地獄だった」命が救われても毎日が地獄だなんて、想像しただけで胸が苦しくなりました。

原爆ドームは今にも崩れそう、こんなにも大きな建物を一瞬にして破壊してしまう原爆の恐ろしさを痛感しました。ここにある建物や資料も被爆の証言者として私たちにその恐怖を訴えてくるようでした。

人間は核と共存できないと思います。核兵器はこの世に全く必要ありません。抑止力のためと聞きますが、原爆の本当の恐ろしさはその時奪う命ばかりでなく、後々まで続く苦しみです。六十六年前のあの日を平和への原点とし、戦争と核兵器のない世界を築いていきたいです。



### 原爆の恐ろしさ

富士見中学校2年  
窪田 ふれあ

私は広島研修へ行って、心に残ったことは放射線と熱線の恐ろしさです。平和記念資料館には、原爆の熱線によって大火傷をおった女性の写真がありました。それは想像以上のもので、原爆の恐ろしさが伝わってきました。さらに原爆の放射能によって、今でも苦しんでいる人はたくさんいることも学ぶことができました。

私は原爆について見たり聞いたりして、このような大切な人を失うことは二度とあってはならないし、見て学んできた核の恐ろしさを、多くの人に伝えなければならぬと思います。

そして、私たち一人ひとりが平和の尊さについて考えればこの世界から核兵器がなくなると思えました。

貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。